

# 高校生が自身の衣生活と環境との関わりを自分事化できるきっかけに 動画で学ぶ『服の一生を考えよう』 —ゴールドウインのサステナブルファッション教育—

株式会社ゴールドウイン マーケティング部 山内智恵

ファッション業界は、大量生産、大量消費、大量廃棄により環境への負荷が大きい産業と言われており、国際的な課題となっています。それに伴い、衣服の生産から着用、廃棄に至るまで環境負荷を考慮したサステナブル（持続可能）なファッションへの取り組みは、近年急速に広がっています\*。若者たちにとっても、サステナブルファッションやエシカル消費は、関心の高い分野です。株式会社ゴールドウインでは、インターネットやアプリを使用し、自分の衣服をはじめとするモノを簡単に売買することのできる世代である高校生を対象に、自身の衣生活と環境との関わりを自分事として学ぶことができる家庭科教材『服の一生を考えよう』を開発しました。株式会社ゴールドウイン 山内様にお話を伺いました。

※出典：環境省ホームページ「SUSTAINABLE FASHIONこれからのファッションを持続可能に」

## 1 サステナブルファッション教育に取り組む背景

ファッション業界は、環境への負荷が大きい産業と言われており、環境や社会への負の影響を軽減するためには、業界全体で連携を高め、持続可能な循環型社会を目指す必要があります。

株式会社ゴールドウイン（以下、ゴールドウインといいます。）は、スポーツアパレルメーカーとして、モノづくりを通じて豊かで健やかな暮らしを実現し、地球環境の持続性に貢献したいと考えています。そのために環境負荷が少なく、再生可能な原材料を使用した製品を開発する「グリーンデザインの推進」、製品のロングユースを目的とした「リペア」、廃棄されることが多い子ども服を循環させるリセール事業「GREEN BATON」などの取組を行ってきました。また、楽しみながら緑の地球を守るプログラム「GREEN IS GOOD」においては、製品の使用者であるお客さまと一緒にアクションを起こすことで、循環型社会の実現を目指しています。

## 2 本教材の目的

教材『服の一生を考えよう』は、自分で服を選び、購入し始める年代の高校生に向けて、身近な衣服と環境問題の関係を意識し、環境負荷を低減するために自分ができることを考えてほしいと、アウトドアブランド「ザ・ノース・フェイス (THE NORTH FACE)」などを展開しているゴールドウイン及び、「SENSEI よのなか学」を通じて、全国の学校に無償で授業用教材を制作・提供している株式会社ARROWS（本社：東京都港区／代表取締役社長：浅谷治希、以下ARROWSといたします。）が共同で制作しました。

本教材は、衣服の大量生産と大量消費による環境への影響や衣服の一生（生産から廃棄）を知るなかで、高校生に対し、ファッション業界がもたらす環境汚染の重大さへの気づきを促し、環境に配慮した衣服の選び方や付き合い方ができるようになることを目指しています。衣生活と環境全体を広く学ぶことのできる教材として開発しました。

## 3 本教材の概要

教材名称：服の一生を考えよう

内容：①服を通じて自分自身が環境問題と関わっていることを認識する  
②環境負荷を低減するために衣生活を工夫する必要性を理解する  
③環境負荷を低減するために自分自身ができることを具体的に考える

実施費用：無料

授業時間：各1コマ（50分） 完結

推奨校種・学年：高校1年

推奨単元：【家庭科】環境に配慮した衣生活

教材内容：授業用スライド、ワークシート、動画、授業概要資料、授業進行台本

授業実施可能期間：2024年3月末まで



本教材は、ARROWSが運営する、全国9万人以上の先生方とのネットワークを基盤とする「SENSEI よのなか学」を通じて展開している教材です。

## 《SENSEI よのなか学とは？》

教科書にはない「世の中に接続された学びの機会」を子どもたちに届けるため、全国の小中高の教員向けに無償で提供する、完全オリジナルの学校授業用教材パッケージ。日本をはじめ世界をリードする企業と連携し、最新の知見を子どもたちに必要な学びに変換。全国9万人以上の教員を基盤としたニーズ調査をもとに制作・提供している。

「SENSEI よのなか学」：<http://arrowsinc.com/business/sensei-yononakagaku/>

※2023年度の「SENSEI よのなか学」を通じての本教材の配信は予定授業数に達しました。

## 4 本教材のポイント

主に動画とワークシートを活用し、環境問題の現状から具体的な衣生活で自分自身ができるサステナブルな取組などを学ぶことができます。

### ●動画教材を通じて、環境問題について知る



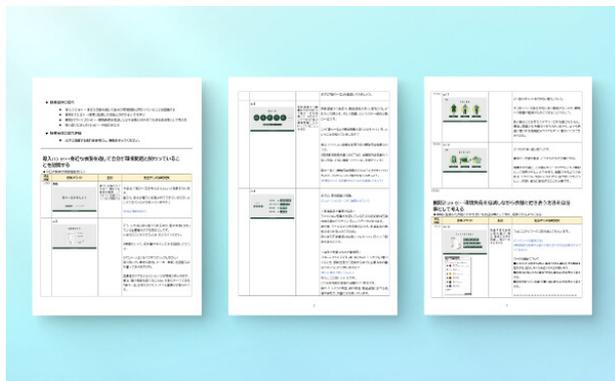
### ●具体的に学生自身が取り組むことのできるサステナブルな方法を学ぶ



## ●ワークシートで実践的に考える



## ●専用の授業概要資料や進行台本によって、教員の授業準備負担を大幅に軽減



## 5 受講生の声

生徒が、身近な衣服という存在に対して、環境配慮の視点をもって主体的に判断していこうという考えが表れた感想を多数頂きました。その中から一例をご紹介します。

- ・「服をしっかり選んでね！」と言われてもどうやって選べばいいか分からなかったことが（授業を通じて）分かるようになったし、私たち人間がたくさんの環境汚染を簡単に意識もあまりせずにやっていたことについて改めて考えることができた。
- ・服の選び方は地球環境に大きく関わることを知ったから。また、今までは好きな服を購入していたが、この授業を通して上手に選んでいきたいと考えました。
- ・大量の服が捨てられていることは知っていたが、（アパレル産業が）環境汚染産業の2位だとは思っていなかった。一着を作るためにたくさんの繊維や水が使われていることを知り、その6割が捨てられていることを知ったので、今まではデザイン重視で服を選んでしたが、使われている素材を考えて選ぶようにしようと、この授業を通して思えた。

## 6 まとめ、今後について

衣生活は、私たち人間の生活と切り離せるものではありません。また、衣生活を通じて、環境や社会への負の影響を軽減し、循環型社会を目指すことも大切なことだと考えています。高校生にとって、この『服の一生を考えよう』の授業を受けた後に、自分が手にしているこの服が、どこで作られているのか、どのような材料から作られているのか、そして手放した後どうなるのだろうかとふと、立ち止まり、社会や地球環境を見つめるきっかけとなることを願っています。

また、ゴールドウインにおいても、本教材への評価やアンケート結果を今後の当社の活動に役立て、さらに持続可能な循環型社会の実現に繋げていきます。引き続き、学生や若者向けの学びの機会創出に注力して参ります。

**もっと知りたい方はこちら！**

株式会社ゴールドウイン ホームページ（『服の一生を考えよう』プレスリリース）：

<https://corp.goldwin.co.jp/info/page-31439>